

武士の町高槻と庶民の町富田を見学

2020.1.8

企画委員会

高槻城はキリシタン大名の和田伊賀の守惟政や高山右近らが入城し華々しく活躍し、キリシタンが60%をこえたことがあった。江戸時代は慶安2年（1649）に徳川幕府譜代大名永井日向守直清が勝竜寺城（長岡京市）から入城し、約200年間13代にわたり三万六千石の城下町として栄えた。また、漢詩人藤井竹外、永井荷風（永井家の末裔）などの文人も輩出している。

一方富田は庶民の町として発展してきた。寺内町として栄えたが、環濠は保存されておらず大部分は消失したが、濠の一部は残存し、虫窓のある旧家はところどころに散在している。また、富田は池田、伊丹と並び「北摂三銘酒」の一つに数えられ、地酒の名産地として知られていた。最盛期は24軒の造り酒屋が軒を連ね、8000石余を醸造していたが、現在は「清鶴酒造」と「寿酒造」の二軒のみになってしまった。

日時：2020年2月7日（金） 10時集合

集合場所：阪急富田駅南出口の階段を上ったところ

大阪方面からは茨木市駅で各停に乗り換え

京都方面からは高槻市駅で各停に乗り換え

持ち物：弁当、飲料、雨具、防寒着

（弁当は図書館の中庭の使用許可を得ています）

（弁当の無い方は富田または高槻駅前で外食可）

雨天時：前日17時のNHKの天気予報で大阪の降雨確率が

午前または午後50%以上で中止。

行程：午前（10時～12時）：寺内町、「北摂三銘酒」の富田見学

昼休み（12時～13時15分）：昼食と移動

午後の集合：阪急高槻市駅改札下の一階に集合（13時15分を予定）

午後（13時15分～15時）：城下町高槻見学

ボランティアガイドは各班に一名。富田の解散時刻、高槻の再集合時刻は実情に合わせて各班で決定。

見学終了後は班ごとに解散

主要見学場所

富田：清鶴酒造、寿酒造、環濠、教行寺、清蓮寺、本照寺、普門寺、三輪神社

高槻：高槻城址、城跡公園、しろあと歴史館（工事が終了していない場合はPASS）、歴史民俗資料館、

高山右近高槻天主教会堂跡、カトリック高槻教会、藤井竹外邸跡、野見神社、理安寺、光松寺、

本行寺

（訪問順序は各班により異なる。ボランティアガイドに一任）



城跡公園（旧三の丸跡）

高山右近石造、本丸の石垣などがある

注意事項

※ 平坦な道なので楽々コースは特に設定していない。

※ トイレは複数の見学場所にあります。

※ 市街地の見学ですので歩行には十分注意するとともに節度を守ってください。



